

Xノイチブ／イチブノXの解釈

言語学・応用言語学専攻

1LT07162R

2007（平成 19）年入学

川下 悠希

2013（平成 25）年 1 月提出

要旨

「Xの一部」と「一部のX」という2つの表現の解釈は、2つの解釈が一致する場合と、一致しない場合がある。本論文の目的は、どのような場合にこの2つの解釈が一致するのか、そして、それはなぜかということをはっきりとすることである。本論文では、多数の例の観察に基づいて次のように主張する。「Xの一部」は、「Xの構成要素であるY」を表す表現であり、それゆえ、Xが単数として捉えられる場合には「一つのXの中の一部分」、Xが複数として捉えられる場合には「複数のXの中のX」として解釈される。これに対して、「一部のX」は、「Yの構成要素であるX」を表す表現であり、それゆえ、Xがさらに大きな集合の部分集合と捉えられる場合に「集合Yの中の集合X」、Xが複数のXの中の一角と捉えられる場合に「複数のXの中のX」として解釈される。このように考えると、Xが複数であり、かつ、複数のXの中の一角であると捉えられる場合には、「Xの一部」と「一部のX」の解釈が一致することになり、それ以外の場合には、この2つの解釈が一致しないということが導き出せる。

目次

1. 問題提起.....	1
2. 主張.....	3
3. 「Xの一部」の解釈.....	5
3.1. 一つのXの中の一部分.....	5
3.2. 複数のXの中のX.....	10
4. 「一部のX」の解釈.....	15
4.1. 集合Yの中の集合X.....	15
4.2. 複数のXの中のX.....	18
5. おわりに.....	24
参考文献.....	25

1. 問題提起

「一部のX」という表現は、(1)の数量表現と形式上は似た表現である。

- (1) a. **一人の観客**が暴徒化した。
- b. **一人の心無い登山客**がゴミを捨てていった。
- c. 宇宙にたった**一つの地球**。

これらの数量表現を対象とした研究は多くあるが、神尾（1977）などのように数量詞の構造を扱ったもの、もしくは、井上（1978）や柴谷（1978）、江口（2000, 2002）などのように遊離数量詞の現象を扱ったものがほとんどであり、本論文が考察対象としている「一部」という表現の解釈可能性を扱った研究は見られなかった。また、「1, 2, 3…」のような数詞や「ほとんど/すべて/たくさん」などの限定詞について扱った山森（2006）でも、「一部」という表現は取り上げられていない。そこで、本論文では、この「一部」という表現が、他の数量表現にはない独自の解釈を持つことを示し、その解釈可能性がどのようになっているのかを明らかにする。

「Xの一部」と「一部のX」という表現は、よく似た表現であり、(2)のように表す意味が同じ場合がある。たとえば、(2a)の「観客の一部」と、(2b)の「一部の観客」は共に、「複数の観客の中の幾人かの観客」という解釈が可能である。

- (2) a. **観客の一部**が暴徒化した。
 複数の観客の中の幾人かの観客
- b. **一部の観客**が暴徒化した。
 複数の観客の中の幾人か観客

(2)に示すとおり、「Xの一部」と「一部のX」という2つの表現は同じ解釈を持ちうる。ところが、(3)とは異なり、(3a)と(3b)の解釈は異なるものである。

- (3) a. **心無い登山客の一部**がゴミを捨てて行った。
 複数の心無い登山客の中の幾人かの心無い登山客
- b. 一部の**心無い登山客**がゴミを捨てて行った。
 「登山客」という集合の中の「心無い登山客」という集合

(3a)では「心無い登山客の一部」が「複数の心無い登山客の中の幾人かの心無い登山客」

を表すのに対し、(3b)では「一部の心無い登山客」が、「登山客」という集合に含まれる異なる集合である「心無い登山客」を表している。このように(2)とは異なり、「Xの一部」と「一部のX」という2つの表現は異なる解釈を持つ場合もある。

さらに、(4)のような文では、(4a)の「地球の一部」が容認可能であるのに対し、(4b)のように「地球」と「一部」を入れ替えた「一部の地球」という表現は、容認不可能になってしまう。

- (4) a. 生き物は**地球**の一部だ。
地球という一つの惑星の中の一部分
- b. *生き物は一部の**地球**だ。

このように、(2)(3)とは異なり、「Xの一部」という表現が容認される場合でも「一部のX」という表現が容認されない場合がある。このように「Xの一部」の解釈と「一部のX」の解釈の関係は3パターン存在する。しかし、どのような場合に、どのパターンに当てはまるのかは明らかではない。そこで、以下の問題を提起したい。

- (5) 「Xの一部」の解釈と「一部のX」の解釈は、一致する場合と異なる場合があり、異なる場合にはさらに「一部のX」のみが容認不可能となる場合がある。2つの表現の解釈がこのような関係を示すのはそれぞれどのような場合か。

次章では、「Xの一部」と「一部のX」それぞれの表現が、何を表す表現なのかを説明することで、「Xの一部」の解釈と「一部のX」の解釈の関係のパターンを明らかにし、この問題に対する答えを示したい。

2. 主張

まず、「Xの一部」という表現は、「Xの構成要素であるY」を表す表現であると考えたい。以下に示すように、Xを単数として考えた場合と、Xを複数として考えた場合とでは、解釈が異なる。(6)の「写真の一部」を例に考えると、「写真」を一枚の写真と考え、その構成要素である一部分が破れている状況を想定している場合には、(6a)のように、「一枚の写真の中の一部」という解釈が可能となる。また、「写真」が複数枚ある写真の集合を表しているとして考え、その複数の写真を構成する何枚かの写真が破れている状況を想定した場合には、(6b)のように、「複数の写真の中の幾つかの枚数の写真」という解釈が可能となる。

- (6) **写真**の一部が破れている。
- a. 一枚の写真の中の一部
- b. 複数の写真の中の幾つかの枚数の写真

つまり、「Xの一部」という表現の解釈には、次のように2通りがあるといえる。Xを単数として考えた場合、YはそのXを構成する一部分として捉えられ、「一つのXの中の一部」という解釈が可能となる。Xを複数として考えた場合には、Yはその中の幾つかの個数のX、として捉えられ、「複数のXの中のX」という解釈が可能となる。

これに対し「一部のX」という表現は、「Yの構成要素であるX」を表す表現である。以下に示すように、Xをさらに大きな集合Yに含まれる部分集合として考えた場合と、Xを複数のXの中の一つとして考えた場合とでは、解釈が異なる。(7)の「一部の卒業写真」を例に考えると、「卒業写真」を、「写真」というさらに大きな集合に含まれる部分集合として考えた場合、(7a)のような解釈が可能となる。「卒業写真」を、複数の卒業写真の中の一角、として考えた場合、(7b)のように「複数の卒業写真の中の幾つかの枚数の卒業写真」という解釈が可能となる。

- (7) 一部の**卒業写真**は破れていた。
- a. 「写真」という集合の中の「卒業写真」という集合
- b. 複数の卒業写真の中の幾つかの枚数の卒業写真

つまり「一部のX」という表現の解釈には、次の2通りがあるといえる。まず、Xをさらに大きな集合Yに含まれる部分集合として考えた場合には、「集合Yの中の集合X」という解釈が可能となり、Xを複数のXの中の一つとして考えた場合には、「複数のXの中の

X」という解釈が可能となる。

これらをもとに、「Xの一部」と「一部のX」の解釈が一致する場合について考えたい。まず、「Xの一部」と「一部のX」という表現の解釈が一致するのは、双方の表現が「複数のXの中のX」という解釈を持つ場合のみである。次に、「Xの一部」「一部のX」それぞれで「複数のXの中のX」という解釈が可能となる場合を考えると、「Xの一部」で、Xが複数として捉えられ、「一部のX」で、Xが複数のXの中の一部として捉えられる場合であることが解る。したがって、(5)の問題提起に対する答えとして、(8)を提案する。

- (8) 「Xの一部」は、「Xの構成要素であるY」を表す表現であり、「一部のX」は、「Yの構成要素であるX」を表す表現である。そのため、「Xの一部」で、Xを複数として考え、「一部のX」で、Xを複数のXの中の一部として考えた場合、双方の表現の解釈は「複数のXの中のX」で、一致し、その他の場合には一致しない。

そして、(8)から「Xの一部」と「一部のX」という2つの表現の解釈可能性を考えると、(9)(10)が成り立っていることが解る。

- (9) a. 表現「Xの一部」が、「一つのXの中の一部」として解釈されるのは、Xが単数として捉えられる場合である。
b. 表現「Xの一部」が、「複数のXの中のX」として解釈されるのは、Xが複数として捉えられる場合である。
- (10) a. 表現「一部のX」が、「集合Yの中の集合X」として解釈されるのは、Xがさらに大きな集合Yの部分集合として捉えられる場合である。
b. 表現「一部のX」が、「複数のXの中のX」として解釈されるのは、Xが複数のXの中の一部として捉えられる場合である。

以降の章では、(9)(10)が成り立つ根拠となる例を示す。

3. 「Xの一部」の解釈

「Xの一部」の解釈は、(9)の通り、「一つのXの中の一部」と「複数のXの中のX」の2つの解釈が可能である。

- (9) a. 表現「Xの一部」が、「一つのXの中の一部」として解釈されるのは、Xが単数として捉えられる場合である。
b. 表現「Xの一部」が、「複数のXの中のX」として解釈されるのは、Xが複数として捉えられる場合である。

3.1. 一つのXの中の一部

「Xの一部」という表現は、「Xの構成要素であるY」を表す表現である。Xを単数として捉えることが可能な場合には、構成要素Yは、一つのXの中の一部、として捉えることが可能となる。その結果、「Xの一部」は、(9a)に示すように「一つのXの中の一部」として解釈することが可能となる。このように、表現「Xの一部」の解釈は、Xが単数として捉えられる場合には、Xがどのような名詞であっても(9a)に従い「一つのXの中の一部」となる。

- (9) a. 表現「Xの一部」が、「一つのXの中の一部」として解釈されるのは、Xが単数として捉えられる場合である。

以下に具体例として、「Xの一部」のXが様々な名詞である場合を列挙し、「Xの一部」の解釈可能性が、Xがどのような名詞の場合でも(9a)に従っていることを示す。

まず(11)-(12)のように、Xが物体を表す名詞である例文で、Xが単数として捉えられる場合には、「Xの一部」の解釈は、(9a)に従い「一つのXの中の一部」となる。この時、「Xの一部」の解釈には、次のように2通りの解釈可能性がある。まず、(11)のように、Xが、幾つかの異なる物体によって構成された物体として考えられる場合、「Xの一部」は、ある物体を構成する幾つかの異なる物体の中の一つ、として解釈することが出来る。

- (11) a. 脳も、肺も、心臓も、**人体**の一部だ。
一体の人体の中の一部
b. 車輪も、ハンドルも、**車**の一部だ。
一台の車の中の一部

(11a)で、「人体」を単数、つまり一体の人体と考えた場合、「人体の一部」の解釈は、(9a)に従い「一体の人体の中の一部」となる。この時、「人体」は、脳や肺、心臓などの幾つかの異なる器官によって構成されていると考えられるので、「人体の一部」は、「人体」を構成する脳や肺、心臓などの器官の中の一つ、として解釈することが出来る。(11b)の「車」も同様である。さらに、(12)のように、X が均質に構成された物体として考えられる場合、「X の一部」は、均質に構成された物体の断片的な一部分、として解釈することが出来る。

- (12) a. **パン**の一部がかびた。
一個のパンの中の一部
- b. **写真**の一部がぼやけている。
一枚の写真の中の一部
- c. 放射線を**骨**の一部に照射する
一本の骨の中の一部
- d. **標本**の一部はとても臭い。
一点の標本の中の一部
- e. **古い標本**の一部はとても臭い。
一点の古い標本の中の一部
- f. **ステージ**の一部が陰になる。
一面のステージの中の一部

(12a)で、「パン」を一個のパンとして考えた場合、「パンの一部」の解釈は、(8a)に従い「一つのパンの中の一部」となる。この時、「パン」は均質に構成された物体として考えられるので、「パンの一部」は、均質に構成された「パン」という物体の断片的な一部分、として解釈することができる。このように、X が物体を表す名詞である例文で、「X の一部」の解釈が「一つの X の中的一部分」となる時、その解釈は、X がどのように構成された物体であるかによって、「ある物体を構成する幾つかの異なる物体の中の一つ」もしくは「均質に構成された物体の断片的な一部分」の、2通りの解釈可能性がある。

また、(13)のように、X が人格を表す名詞である例文でも、X が単数として捉えられる場合には、「X の一部」の解釈は、(9a)に従い「一つの X の中的一部分」となる。

- (13) a. 短気で怒りっぽいという性格も、**私**の一部だ。
私という一人の人格の中の一部
- b. **誰か**の一部に問題があるのではなく、全員の中に問題があるのだ。
誰か一人の人格の一部
- c. 君がいなくなって、**自分**の一部を失った気分だ。

- 自分という一人の人格の中の一部
- d. 大学での一つ一つの経験が**太郎**の一部になった。
太郎という一人の人格の中の一部

(13a)で、「私」は単数、すなわち一人の人格として考えられるので、「私の一部」の解釈は、(9a)に従い「私という一人の人格の中の一部」となる。

次に(14)のように、X が空間的範囲を表す名詞である場合には、X が単数として捉えられるのであれば、「X の一部」の解釈は、(9a)に従い「一つの X の一部分」となる。

- (14) a. **路線**の一部は復旧しました。
一本の路線の中の一部
- b. 古賀一香椎は**定期区間**の一部だ。
一区間の定期区間の中の一部
- c. **被害が小さかった路線**の一部は復旧しました。
被害が小さかった一本の路線の中の一部
- d. 大雨により**地域**の一部に被害が出ています。
一つの地域の中の一部
- e. 北九州は**福岡県**の一部だ。
福岡県という一つの県の中の一部

(14a)で、「路線」を単数、つまり一本の路線として考えた場合、「路線の一部」の解釈は、(9a)に従い「一本の路線の中の一部」となる。

(15)のように、X がカテゴリーを表す名詞である例文において、X を単数として考えた場合、「X の一部」の解釈は、(9a)に従い「一つの X の中的一部分」となる。

- (15) a. クジラもイルカもアシカも**哺乳類**の一部だ。
哺乳類という一つのカテゴリーの中の一部
- b. 自転車も、バイクも、**車両**の一部だ
車両という一つのカテゴリーの中の一部

(15a)で、「哺乳類」は単数、つまり一つのカテゴリーとして考えられるので、「哺乳類の一部」の解釈は、(9a)に従い「哺乳類という一つのカテゴリーをなす、ある構成要素」となる。

(16)のように、X が情報を表す名詞である例文において、X が単数として考えられる場合、「X の一部」の解釈は(9a)に従い「一つの X の中的一部分」となる。

- (16) a. **ニュース**の一部は誤報だった。
一つのニュースの中の一部分
- b. **ツイート**の一部は、デマだった
一つのツイートの中の一部分

(16a)で、「ニュース」を単数、つまり一つのニュースとして考えた場合、「ニュースの一部」の解釈は、(9a)に従い、「一つのニュース構成する一部分」となる。

そして、(17)のように、X が動作を表す名詞である例文において、X が単数として考えられる場合にも、「X の一部」の解釈は(9a)の主張の通り、「一つの X の中の一部分」となる。

- (17) a. **プレー**の一部には彼らしさが現れていた。
一つのプレーの中の一部分
- b. **手続き**の一部については本院確認書類が必要です。
一つの手続きの中の一部分
- c. **取引**の一部が問題視される。
一つの取引の中の一部分
- d. **作法**の一部を間違えた。
一つの作法の中の一部分

(17a)で、「プレー」を単数、つまり一つのプレーとして考えた場合、「プレーの一部」の解釈は、(9a)に従い「一つのプレーの中の一部分」となる。

(18)のように、X が金額を表す名詞であれば、X が単数として考えられる場合に、「X の一部」の解釈は(9a)の通り、「一件の X の中の一部分」となる。

- (18) a. **日当**の一部を支払う。
一件の日当の総額の中の一部分
- b. **収益**の一部は環境保護団体に寄付されます。
一件の収益の総額の中の一部分
- c. この研究には、**科学研究費助成金**の一部を充てた。
一件の科学研究助成金の中の一部分

(18a)で、「日当」を単数、つまり一件の日当として考えた場合、「日当の一部」の解釈は、(9a)に従い「一件の日当の総額の中の一部分」となる。

(19)のように、X が何らかの概念を表すようなさまざまな名詞であっても、X が単数として考えられる限りは、「X の一部」の解釈は(9a)に従い「一つの X の中の一部分」となる。

- (19) a. 国民投票は**民主主義**の一部だ。
民主主義という一概念の中の一部分
- b. **人生**の一部は運に左右される。
人生という一概念の中の一部分
- c. **物事**の一部しか見ていない。
物事という一概念の中の一部分
- d. **マニフェスト**の一部を見直す。
一つのマニフェストの中の一部分
- e. **不評なマニフェスト**の一部を見直す。
一つの不評なマニフェストの中の一部分
- f. **法律**の一部を改正する。
一つの法律の中の一部分
- g. **不適切な法律**の一部を改正する。
一つの不適切な法律の中の一部分

(19a)で、「民主主義」を一つの概念として考えた場合、「民主主義の一部」の解釈は、(9a)に従い「民主主義という一つの概念を構成する要素」となる。

このように、X がどのような名詞であっても、X が単数として捉えられる場合、「X の一部」の解釈は、(9a)に従い「一つの X の中の一部分」となる。

X が複数としか捉えられない(20)のような例文では、「X の一部」を「一つの X の中の一部分」として解釈すると不自然な解釈になり、「複数の X の中の X」として解釈すると、自然な解釈になる。

- (20) a. **観客**の一部が暴徒化した。
*一人の観客の中の一部分
複数の観客の中の観客
- b. **心無い登山客**の一部が山道にゴミを捨てて行った。
*一人の心無い登山客の中の一部分
複数の心無い登山客の中の心無い登山客

(20a)で、「観客」を単数、つまり一人の観客として考え、「観客の一部」を「一人の観客

の中の一部分」として解釈すると、一人の観客の中の一部分、例えば、腕や足などが暴徒化したことを想定することになり、不自然な解釈となってしまう。「観客」を複数の観客と考へて「観客の一部」を「複数の観客の中の観客」として解釈すると、複数の観客の中の任意の観客が暴徒化している状況が想定され、自然な解釈となる。このことから「Xの一部」という表現にはXをどのようにとらえるかということが確かにかかわっている。

3.2. 複数の X の中の X

前章でも述べたが、「Xの一部」という表現は、「Xの構成要素であるY」を表す表現であると考えられる。Xを複数のXの集合として捉えることが可能な場合には、構成要素Yは、複数のXの中の幾つかの個数のX、として捉えることが可能となる。その結果、「Xの一部」は、(9b)に示すように「複数のXの中のX」、として解釈することが可能となる。このように、表現「Xの一部」の解釈は、Xが複数として捉えられる場合には、Xがどのような名詞であっても(9b)に従い「複数のXの中のX」となる。

- (9) b. 表現「Xの一部」が、「複数のXの中のX」として解釈されるのは、Xが複数として捉えられる場合である。

以下に具体例として、「Xの一部」のXが様々な名詞である場合を列挙し、Xがどのような名詞の場合でも「Xの一部」の解釈可能性が(9b)に従っていることを示す。

(21)のようにXが物体を表す名詞である例文において、Xが複数として捉えられる場合には、「Xの一部」の解釈は、(9b)に従い「複数のXの中のX」となる。

- (21) a. **破片**の一部が地球に落下した。
複数の破片の中の破片
- b. **パン**の一部がかびた。
複数のパンの中のパン
- c. **写真**の一部がぼやけている。
複数の写真の中の写真
- d. **遺体**の一部は損傷が激しい。
複数の遺体の中の遺体
- e. **骨格**の一部が発掘された。
複数の骨格の中の骨格
- f. **標本**の一部はとても臭い。
複数の標本の中の標本
- g. **古い標本**の一部はとても臭い。

複数の古い標本の中の古い標本

- h. **自宅**の一部がオフィス化した。
複数の自宅の中の自宅

たとえば、(21a)では、「破片」を複数の破片として考えた場合、「破片の一部」の解釈は、(9b)の通り、「複数個の破片の中の破片」となる。

また、(22)のように、Xが人を表す名詞である例文において、Xが複数存在していると考えられる場合には、「Xの一部」の解釈は、「複数のXの中の任意のX」となる。これは(9b)の通りである。

- (22) a. **観客**の一部が暴徒化した。
複数の観客の中の観客
- b. **マニア**の一部に人気がある。
複数のマニアの中のマニア
- c. **参加者**の一部からは不満が漏れた。
複数の参加者の中の参加者
- d. **生徒**の一部が姿を消した。
複数の生徒の中の生徒
- e. **人質**の一部を開放した。
複数の人質の中の人質
- f. **心無い登山客**の一部が山道にゴミを捨てて行った。
複数の心無い登山客の中の心無い登山客
- g. 悪役レスラーが得意技を決め、**熱狂的ファン**の一部からコールが起こる。
複数の熱狂的ファンの中の熱狂的ファン
- h. 詰め放題で) **ツワモノ**の一部は20個を詰めた。
複数のツワモノの中のツワモノ
- i. **興奮した客**の一部が暴徒化した。
複数の興奮した客の中の興奮した客
- j. **冷めたファン**の一部は試合終了前に帰り始めた。
複数の冷めたファンの中の覚めたファン

(22a)において、「観客」を複数の観客として考えた場合、「観客の一部」の解釈は、(9b)に従い「複数の観客の中の任意の観客」となる。

また、(23)のようにXが空間的範囲を表す名詞である例文において、Xが複数として捉えられる場合には、「Xの一部」の解釈は、(9b)に従い「複数のXの中のX」となるはず

である。

- (23) a. **路線**の一部は復旧しました。
複数の路線の中の路線
- b. **被害が小さかった路線**の一部は復旧しました。
被害が小さかった複数の路線の中の被害が小さかった路線
- c. 大雨により**地域**の一部に被害が出ています。
複数の地域の中の地域

(23a)において、「路線」を複数の路線として考えた場合、「路線の一部」の解釈は、(9b)に従い「複数の路線の中を構成する複数個の路線」となる。

(24)のように X が情報を表す名詞である例文において、X が複数として捉えられる場合には、「Xの一部」の解釈は、(9b)に従い「複数の X の中の X」となる。

- (24) a. **ニュース**の一部はデマだった。
複数のニュースの中のニュース
- b. **ツイート**の一部はデマだった。
複数のツイートの中のツイート

(24a)で、「ニュース」を複数のニュースとして考えた場合、「ニュースの一部」の解釈は、(9b)に従い「複数個のあるニュースの内、ニュースを構成するあるニュース」となる。

そして、(25)のような、X が動作を表す名詞である例文において、X が複数として捉えられる場合、「Xの一部」の解釈は、(9b)に従い「複数の X の中の X」となる。

- (25) a. **プレー**の一部には彼らしさが現れていた。
複数のプレーの中のプレー
- b. **取り扱い**の一部を停止する。
複数の取り扱いの中の取り扱い
- c. **サービス**の一部を終了しました。
複数のサービスの中のサービス
- d. **取引**の一部が問題視される。
複数の取引の中の取引
- e. **手続き**の一部については本院確認書類が必要です。
複数の手続きの中の手続き

(25a)で、「プレー」を複数のプレーとして考えた場合、「プレーの一部」の解釈は、(9b)に従い「複数のプレーを構成するようなプレー」となる。

(26)のように、X が金額を表す名詞である例文において、X が複数として捉えられる場合には、「Xの一部」の解釈は、(9b)に従い「複数件の X の中の X」となる。

- (26) a. **日当**の一部を支払う。
複数件の日当の中の日当
- b. **収益**の一部は環境保護団体に寄付されます。
複数件の収益の中の収益
- c. この研究には、**科学研究費助成金**の一部を充てた。
複数件の科学研究費助成金の中の科学研究費助成金

(26a)で、「日当」を複数の日当として考えた場合、「日当の一部」の解釈は、(9b)に従い「複数件の日当の中の日当」となる。

(27)のように X が概念を表すような様々な名詞であっても、X が複数として捉えられる場合には、「Xの一部」の解釈は、(9b)の通り、「複数の X の中の X」となる。

- (27) a. **機能**の一部を失う。
複数の機能の中の機能
- b. **過激な表現**の一部が論争を巻き起こした。
複数の過激な表現の中の過激な表現
- c. **不適切なコメント**の一部は撤回した。
複数の不適切なコメントの中の不適切なコメント
- d. **マニフェスト**の一部を見直す。
複数のマニフェストの中のマニフェスト
- e. **不評なマニフェスト**の一部を見直す。
複数の不評なマニフェストの中の不評なマニフェスト
- f. **法律**の一部を改正する。
複数の法律の中の法律
- g. **不適切な法律**の一部を改正する。
複数の不適切な法律の中の不適切な法律
- h. **テスト**の一部はひどい出来だった。
複数のテストの中のテスト
- i. **対策不十分だったテスト**の一部はひどい出来だった。
対策不十分だった複数のテストの中の対策不十分だったテスト

(27a)において、「機能」を複数の機能として考えた場合、「機能の一部」の解釈は、(9b)に従い「複数の機能の中の機能」となる。

このように、Xがどのような名詞であっても、Xが複数として捉えられる場合、「Xの一部」の解釈は、(9a)に従い「複数のXの中のX」となる。

Xが単数としか捉えられない(28)のような例文では、「Xの一部」を「複数のXの中のX」として解釈することはできず、「一つのXの中の一部分」という解釈だけが可能となる。

- (28) a. 生き物は**地球**の一部だ。
*複数の地球の中の地球
地球という一つの惑星の中の一部分
- b. 髪の毛も、爪も、**私**の一部だ。
*複数の私の中の私
私という一人の人間の中の一部分

(28a)において、「地球」は単数としか捉えられないので、「地球の一部」は、「複数の地球の中の地球」として解釈することはできず、「地球という一つの惑星の中の一部分」という解釈だけが可能となる。

4. 「一部のX」の解釈

「一部のX」の解釈は、(10)の通り、「集合Yの中の集合X」と「複数のXの中のX」の2つの解釈が可能である。

- (10) a. 表現「一部のX」が、「集合Yの中の集合X」として解釈されるのは、Xがさらに大きな集合Yの部分集合として捉えられる場合である。
- b. 表現「一部のX」が、「複数のXの中のX」として解釈されるのは、Xが複数のXの中の一角として捉えられる場合である。

4.1. 集合Yの中の集合X

「一部のX」という表現は、「Yの構成要素であるX」を表す表現であると考えられる。Xを大きな集合に含まれる小さな集合として考えることが可能な場合、Yは幾つかの小さな集合で構成された集合Yとして捉えることが可能となり、構成要素Xは、その集合Yを構成する一つの小さな集合X、として捉えることが可能となる。その結果、「一部のX」は、(10a)に示すように「集合Yの中の集合X」として解釈することが可能となる。このように、表現「一部のX」の解釈は、Xがさらに大きな集合の部分集合であると考えられる場合には、Xがどのような名詞であっても(10a)に従い「集合Yの中の集合X」となる。

- (10) a. 表現「一部のX」が、「集合Yの中の集合X」として解釈されるのは、Xがさらに大きな集合Yの部分集合であると考えられる場合である。

以下に具体例として、「一部のX」のXが様々な名詞である場合を列挙し、「一部のX」の解釈可能性が、Xがどのような名詞の場合でも(10a)に従っていることを示す。

(29)のように、Xが物体を表す名詞である例文において、Xが更に大きな集合の部分集合として捉えられる場合には、「一部のX」の解釈は、(10a)に従い「集合Yの中の集合X」となる。

- (29) a. 一部の**古い標本**はとても臭い。
「標本」という集合の中の「古い標本」という集合
- b. 一部の**卒業写真**は破れていた。
「写真」という集合の中の「卒業写真」という集合

(29a)において、「古い標本」を含むような、更に大きな「標本」という集合があると考え

ると、「一部の古い標本」の解釈は、(10a)に従い「標本という集合の中の古い標本という集合」となる。

(30)のように、X が人を表し、X が更に大きな集合の部分集合として捉えられる場合には、「一部の X」の解釈は、(10a)に従い「集合 Y 中の集合 X」となる。

(30) a. 悪役レスラーが得意技を決め、一部の**熱狂的ファン**からコールが起こる。

「ファン」という集合の中の「熱狂的ファン」という集合

b. 一部の**心無い登山客**が山道にゴミを捨てて行った。

「登山客」という集合の中の「心無い登山客」という集合

c. (詰め放題で)一部の**ツワモノ**は20個を詰めた。

「詰め放題の参加者」という集合の中の「ツワモノ」という集合

d. 一部の**校則違反の生徒**については、あとで厳しく指導する。

「生徒」という集合の中の「校則違反の生徒」という集合

e. 一部の**興奮した客**が暴徒化した。

「客」という集合の中の「興奮した客」という集合

f. 一部の**悪ガキ**が騒動を起こした

「ガキ」という集合の中の「悪ガキ」という集合

(30a)で、「熱狂的ファン」を、更に大きな「ファン」という集合の部分集合として考えた場合、「一部の熱狂的ファン」の解釈(10a)の通り、「ファンという集合の中の熱狂的ファンという集合」となる。

(31)のように、X が空間的範囲を表す場合には、X が更に大きな集合の部分集合として捉えられる場合には、「一部の X」の解釈は、(10a)に従い「集合 Y 中の集合 X」となる。

(31) a. 一部の**危険な地域**がの住民に避難勧告が出された。

「地域」という集合の中の「危険な地域」という集合

b. 一部の**被害が小さかった路線**は復旧しました。

「路線」という集合の中の「被害が小さかった路線」という集合

(31a)で、「危険な地域」を、更に大きな「地域」という集合の部分集合として考えると、「一部の危険な地域」の解釈は、(10a)に従い「地域という集合の中の危険な地域という集合」となる。

(32)のように、X が動作を表す名詞である例文において、X を更に大きな集合の部分集合として考えた場合、「一部の X」の解釈は、(10a)に従い「集合 Y 中の集合 X」となる。

(32) a. 一部の**危険なプレー**に批判が集まる。

「プレー」という集合の中の「危険なプレー」という集合

b. 一部の**粗暴な振る舞い**が問題視される。

「振る舞い」という集合の中の「粗暴な振る舞い」という集合

(32a)で、「危険なプレー」を、更に大きな「プレー」という集合の部分集合として考えると、「一部の危険なプレー」の解釈は「プレーという集合の中の危険なプレーという集合」となる。

(33)のように、X が情報を表す名詞である例文において、X を更に大きな集合の部分集合として考えた場合、「一部の X」の解釈は、(10a)に従い「集合 Y 中の集合 X」となる。

(33) a. 一部の**怪しいニュース**が、新聞社の評判を落とした。

「ニュース」という集合の中の「怪しいニュース」という集合

b. 一部の**情報源が不透明なツイート**に踊らされる。

「ツイート」という集合の中の「情報源が不透明なツイート」という集合

(33a)で、「怪しいニュース」を、更に大きな「ニュース」という集合の部分集合として考えると、「一部の怪しいニュース」の解釈は、(10a)に従い「ニュースという集合の中の怪しいニュースという集合」となる。

(34)のように、X が概念を表す名詞である例文において、X を更に大きな集合の部分集合として考えた場合、「一部の X」の解釈は、(10a)に従い「集合 Y 中の集合 X」となる。

(34) a. 一部の**過激な表現**が論争を巻き起こした。

「表現」という集合の中の「過激な表現」という集合

b. 一部の**不適切なコメント**は撤回した。

「コメント」という集合の中の「不適切なコメント」という集合

c. 一部の**不評なマニフェスト**を見直す。

「マニフェスト」という集合の中の「不評なマニフェスト」という集合

d. 一部の**不適切な法律**を改正する。

「法律」という集合の中の「不適切な法律」という集合

e. 一部の**対策不十分だったテスト**はひどい出来だった。

「テスト」という集合の中の「対策不十分だったテスト」という集合

(34a)で、「過激な表現」を、更に大きな「表現」という集合の部分集合として考えると、「一部の過激な表現」の解釈は、(10a)に従い「表現という集合の中の過激な表現という集

合」となる。

このように、X がどのような名詞であっても、X がさらに大きな集合の部分集合として捉えられる場合、「一部の X」の解釈は、(10a)に従い「集合 Y 中の集合 X」となる。X を複数の X 中の一角としか考えることができない(35)のような例文では、「一部の X」を「集合 Y 中の集合 X」として解釈することはできず、「複数の X 中の X」という解釈だけが可能となる。

- (35) a. 一部の**観客**が暴徒化した。
*集合 Y 中の「観客」という集合
複数の観客中の観客
- b. 一部の**生徒**が消えた。
*集合 Y 中の「生徒」という集合
複数の生徒中の生徒

(35a)で、「観客」は、複数の観客中の一角としてしか考えることができないので、「観客の一部」を「集合 Y 中の観客という集合」として解釈することはできず、「複数の観客中の観客」という解釈だけが可能となる。

さらに、X が単数としてしか捉えられない(36)のような例文では、X を複数の X 中の一角として考えることができないだけでなく、X をさらに大きな集合の部分集合として考えることもできないので、「一部の X」を「集合 Y 中の集合 X」として解釈することも、「複数の X 中の X」として解釈することもできず、容認不可能な表現となる。

- (36) a. *生き物は一部の**地球**だ。
*集合 Y 中の地球という集合
*複数の地球中の地球
- b. *髪の毛や爪も、一部の**私**だ。
*集合 Y 中の私という集合
*複数の私の中の私

(36a)で、「地球」は単数としか捉えられないので、「一部の地球」を「集合 Y 中の地球という集合」として解釈することも、「複数の地球中の地球」として解釈することもできない。

4.2. 複数の X 中の X

前述したとおり、「一部の X」という表現は、「Y の構成要素である X」を表す表現で

あると考えられる。もし、X を複数の X 中の一角として捉えることが可能な場合には、Y は複数の X で構成される集合として捉えることが可能となり、構成要素 X は、Y を構成する複数の X 中の幾つかの個数の X として捉えられることが可能となる。その結果、「一部の X」は、(10b)に示すように、「複数の X 中の X」として解釈することが可能となる。このように、表現「一部の X」の解釈は、X が複数の X 中の一角として捉えられる場合には、X がどのような名詞であっても「複数の X 中の X」となる。

- (10) b. 表現「一部の X」が、「複数の X 中の X」として解釈されるのは、X が複数の X 中の一角として捉えられる場合である。

以下に具体例として、「一部の X」の X が様々な名詞である場合を列挙し、X がどのような名詞の場合でも「一部の X」の解釈可能性が(10b)に従っていることを示す。

(37)のように、X が物体を表す名詞である例文において、X が複数の X 中の一角として捉えられる場合には、「一部の X」の解釈は、(10b)に従い「複数の X 中の X」となる。

- (37) a. 一部の**破片**が地球に落下した。
複数の破片中の破片
- b. 一部の**遺体**が発見された。
複数の遺体中の遺体
- c. 放射線を一部の**骨**に照射する。
複数の骨中の骨
- d. 一部の**写真**がぼやけている。
複数の写真中の写真
- e. 一部の**パン**がかびた。
複数のパン中のパン
- f. 一部の**標本**はとても臭い。
複数の標本中の標本
- g. 一部の**遺体**は損傷が激しい。
複数の遺体中の遺体
- h. 一部の**骨格**が発掘された。
複数の骨格中の骨格
- i. 一部の**ステージ**が陰になる。
複数のステージ中のステージ
- j. 一部の**自宅**を改造してオフィスにする。
複数の自宅中の自宅

- k. 一部の**卒業写真**は破れていた。
複数の卒業写真の中の卒業写真
- l. 一部の**古い標本**はとても臭い。
複数の古い標本の中の古い標本

(37a)で、「破片」を、複数の破片の中の一部として考えると、「一部の破片」の解釈は、(10b)に従い「複数の破片の中の破片」となる。

次に(38)のように、X が人を表す場合には、X が複数の X の中的一部分として捉えられると、「一部の X」の解釈は「複数の X の中の X」となる。

- (38) a. 一部の**観客**が暴徒化した。
複数の観客の中の観客
- b. (詰め放題で) 一部の**ツワモノ**は 20 個を詰めた。
複数のツワモノの中のツワモノ
- c. 一部の**人質**を開放した。
複数の人質の中の人質
- d. 一部の**マニア**に人気がある。
複数のマニアの中のマニア
- e. 一部の**参加者**からは不満が漏れた。
複数の参加者の中の参加者
- f. 一部の**生徒**が姿を消した。
複数の生徒の中の生徒
- g. 一部の**心無い登山客**が山道にゴミを捨てて行った。
複数の心無い登山客の中の心無い登山客
- h. 一部の**悪ガキ**が騒動を起こした
複数の悪ガキの中の悪ガキ

(38a)で、「観客」を、複数の観客の中の一部として考えると、「一部の観客」の解釈は、「複数の観客の中の観客」となる。

(39)のように、X が空間的範囲を表す名詞である例文において、X が複数の X の中的一部分として捉えられる場合には、「一部の X」の解釈は、「複数の X の中の X」となる。

- (39) a. 一部の**路線**は復旧しました。
複数の路線の中の路線
- b. 大雨により一部の**地域**に被害が出ています。

複数の地域の中の地域

- c. 一部の**危険な地域**が住民に避難勧告が出された。
複数の危険な地域の中の危険な地域
- b. 一部の**被害が小さかった路線**は復旧しました。
複数の被害が小さかった路線の中の被害が小さかった路線

(39a)で、「路線」を、複数の路線の中の一部として考えると、「一部の路線」の解釈は、(10b)の通り「複数の路線の中の路線」となる。

(40)のように、X が情報を表す名刺の時、X が複数の X の中的一部分として捉えられる場合には、「一部の X」の解釈は、(10b)の通り「複数の X の中の X」となる。

- (40) a. 一部の**ニュース**は誤報だった。
複数のニュースの中のニュース
- b. 一部の**ツイート**はデマだった。
複数のツイートの中のツイート

(40a)で、「ニュース」を、複数のニュースの中の一部として考えると、「一部のニュース」の解釈は、(10b)に従い「複数のニュースの中のニュース」となる。

(41b)のように、X が動作を表す名詞である例文において、X が複数の X の中的一部分として捉えられる場合には、「一部の X」の解釈は、(10b)に従い「複数の X の中の X」となる。

- (41) a. 一部の**プレー**には彼らしさが現れていた。
複数のプレーの中のプレー
- b. 一部の**取引**が問題視される。
複数の取引の中の取引
- c. 一部の**手続き**については本人確認書類が必要です。
複数の手続きの中の手続き
- d. 一部の**取り扱い**を停止する。
複数の取り扱いの中の取り扱い

(41a)で、「プレー」を、複数のプレーの中の一部として考えると、「一部のプレー」の解釈は、(10b)に従い「複数のプレーの中のプレー」となる。

(42)のように、X が金額を表す名詞である例文において、X が複数の X の中的一部分として捉えられる場合には、「一部の X」の解釈は、(10b)に従い「複数の X の中の X」となる。

- (42) a. 一部の**日当**を支払った。
 複数件の日当の中の日当
- b. 一部の**収益**は環境保護団体に寄付されます。
 複数件の収益の中の収益。
- c. この研究に、一部の**科学研究費助成金**を充てた。
 複数件の科学研究費助成金の中の科学研究費助成金

(42a)で、「日当」を、複数件の日当の中の一角として考えると、「一部の日当」の解釈は、(10b)に従い「複数の日当の中の日当」となる。

(43)のように、X が概念を表す名詞である例文において、X が複数の X の中の一角として捉えられる場合には、「一部の X」の解釈は、(10b)に従い「複数の X の中の X」となる。

- (43) a. 一部の**機能**を失う。
 複数の機能の中の機能
- b. 一部の**マニフェスト**を見直す。
 複数のマニフェストの中のマニフェスト
- c. 一部の**物事**しか見ていない。
 複数の物事の中の物事
- d. 一部の**法律**を改正する。
 複数の法律の中の法律
- e. 一部の**テスト**はひどい出来だった。
 複数のテストの中のテスト
- f. 一部の**過激な表現**が論争を巻き起こした。
 複数の過激な表現の中の過激な表現

(43a)で、「機能」を、複数の機能の中の一角として考えると、「一部の機能」の解釈は、(10b)に従い「複数の機能の中の機能」となる。

このように、X がどのような名詞であっても、X が複数の X の中の一角として捉えられる場合には、「一部の X」の解釈は、(10b)に従い「複数の X の中の X」となる。X を、さらに大きな集合の中の部分集合としか考えることができない(44)のような例文では、「一部の X」を「複数の X の中の X」として解釈することはできず、「集合 Y の中の集合 X」という解釈だけが可能となる。

- (44) a. 暴徒化したのは、デモ参加者のうち一部の**過激な参加者**だけだ。
 *複数の過激な参加者の中の過激な参加者

- 「参加者」という集合の中の「過激な参加者」という集合
- b. この山にゴミを捨てていくのは、登山客の中でも一部の**心無い登山客**だけだ。
 *複数の心無い登山客の中の心無い登山客
 「登山客」という集合の中の「心無い登山客」という集合

(44a)で、「過激な参加者」は、さらに大きな「参加者」という集合の部分集合としか考えることができないので、「一部の過激な参加者」を「複数の過激な参加者の中の過激な参加者」として解釈することはできず、「参加者という集合の中の過激な参加者という集合」という解釈だけが可能となる。また、前節でも挙げたように、(36)のように、X が単数としか捉えられない例文では、X を複数の X の中の一角として考えることができないだけでなく、X をさらに大きな集合の部分集合として考えることもできないので、「一部の X」は「複数の X の中の X」としても、「集合 Y の中の集合 X」としても解釈できず、容認不可能な表現となる¹。

- (36) a. *生き物は一部の**地球**だ。
 *集合 Y の中の地球という集合
 *複数の地球の中の地球
- b. *髪の毛や爪も、一部の**私**だ。
 *集合 Y の中の私という集合
 *複数の私の中の私

¹次の例文において「閉鎖」は、さらに大きな集合の部分集合として捉えることができないため、「集合 Y の中の集合 X」という解釈ができない。さらに「閉鎖」は、複数の「閉鎖」の中の一角として捉えることもできないので、「複数の X の中の X」という解釈もできない。

- (i) この企業が運営する**施設**のうち、一部の**閉鎖**を命じる。
 *Y の中の閉鎖
 *複数の閉鎖の中の閉鎖
- しかし、「一部」の前に「施設の」が省略されていると考えた場合、省略された「施設」を X とし、「施設の一部」を「X の一部」として考えると、「施設の一部」は(7b)に従い「複数の施設の中の施設」という解釈が可能となる。その結果、「(施設の) 一部の停止」は、「複数の施設の中の施設」の停止、という解釈が可能となる。
- (ii) この企業が運営する**施設**のうち、(施設の) 一部の**閉鎖**を命じる。
 「複数の施設の中の施設」の閉鎖

5. おわりに

本論文では、(5)に示すように、「Xの一部」と「一部のX」という2つの表現の解釈が一致する場合と、一致しない場合があることを示し、それぞれがどのような場合に起こるのかという問題について論じた。

- (5) 「Xの一部」の解釈と「一部のX」の解釈は、一致する場合と異なる場合があり、異なる場合にはさらに「一部のX」のみが容認不可能となる場合がある。2つの表現の解釈がこのような関係を示すのはそれぞれどのような場合か。

「Xの一部」と「一部のX」がそれぞれ何を表す表現なのか、という点に注目した結果、「Xの一部」と「一部のX」の解釈が、(9)(10)に示すように、それぞれ2通りあることが分かった。

- (9) a. 表現「Xの一部」が、「一つのXの中の一部」として解釈されるのは、Xが単数として捉えられる場合である。
b. 表現「Xの一部」が、「複数のXの中のX」として解釈されるのは、Xが複数として捉えられる場合である。
- (10) a. 表現「一部のX」が、「集合Yの中の集合X」として解釈されるのは、Xがさらに大きな集合Yの部分集合として捉えられる場合である。
b. 表現「一部のX」が、「複数のXの中のX」として解釈されるのは、Xが複数のXの中の一角として捉えられる場合である。

この事実から、問題提起への回答として、(8)を提案した。

- (8) 「Xの一部」は、「Xの構成要素であるY」を表す表現であり、「一部のX」は、「Yの構成要素であるX」を表す表現である。そのため、「Xの一部」で、Xを複数として考え、「一部のX」で、Xを複数のXの中の一角として考えた場合、双方の表現の解釈は「複数のXの中のX」で、一致し、その他の場合には一致しない。

このように、本論文では、「Xの一部」と「一部のX」の解釈のパターンは、それぞれXをどのように考えるかによって決まる、と結論付けた。

参考文献

- 山森良枝(2006)『日本語の限量表現の研究—量化と前提の諸相—』東京：風間書房
江口正(2000)「「ほか」の2用法について」『愛知県立大学外国語学部紀要(言語・文学編)』
32:291-310
江口正(2002)「遊離数量詞の関係節化」『福岡大学人文論叢』33:2148-2167
神尾昭雄(1977)「数量詞のシンタクス」『言語』6(8):83-91
井上和子(1978)『日本語の文法規則』東京：大修館
柴谷方良(1978)『日本語の分析』東京：大修館